

第49期 期末報告書

(2025年3月1日～2026年2月28日)

● 株主・投資家の皆様へ

2025年12月にオープンした「PRO岡山久米店」



証券コード7516

 **コーナン**
コーナン商事株式会社

株主の皆様へ

第49期(2025年3月1日~2026年2月28日)の事業の状況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第49期の概況についてご報告申し上げます。

当期の売上高につきましては、前期の防災・防犯需要増の反動減や冬物季節商品などの不振の影響を受けたものの、新規出店による上積みに加え、年度を通じてPRO向け商材、日用消耗品及び食品などが牽引し前年同期を上回りました。一方で、各段階利益は、売上総利益の伸びが新規出店などによる販管費の伸びを下回ったことに起因し、前年同期を下回りました。

実績としましては、コーナングループ連結で、売上高は5,020億59百万円(前年同期比3.7%増、当初計画比0.8%減)、売上総利益は1,855億32百万円(同3.4%増、同1.8%減)、営業利益は223億97百万円(同10.4%減、同12.5%減)、経常利益は207億54百万円(同11.0%減、同13.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は122億63百万円(同13.7%減、同15.4%減)となりました。

新規出店につきましては、ホームセンターコーナンを8店舗、コーナンPROを12店舗、建デポを6店舗、ホームインブルーメントひろせを2店舗、そしてコーナンベトナムを2店舗の計30店舗をオープンしました(4店舗閉店)。また、2025年10月にグループインしたホームセンターみつわの4店舗も加わり、第49期末時点のグループ店舗数は671店舗となりました。

当社グループは、2026年2月期(第49期)から2028年2月期(第51期)までを対象期間とする「第4次中期経営計画」を策定しております。本計画は経営体制の更なる強化を目指し、将来に向けた基盤構築を行う期間と位置付け、最終年度目標として、売上高5,600億円、営業利益290億円、当期純利益165億円を掲げております。また、グループ総合力の強化を図るため、2025年10月には福井県を地盤とするホームセンターみつわ、同年12月にはインテリア・家具を中心とするEC専業事業会社2社を統括するInTホールディングスを子会社化しました。ホームセンターみつわのグループインにより北陸地域における店舗網強化を図ります。InTホールディングスのグループインにより、内製化されたECノウハウを共有化し、当社とInTホールディングス傘下の2社双方が培ってきた商品企画力・販売力・物流体制などを融合することで、EC



代表取締役社長 足田 直太郎

ビジネス領域の拡大が可能となります。さらに、本年2月にはアレンザホールディングスの株式公開買付け及び資本業務提携契約締結、並びに親会社で共同出資会社となるパローホールディングスと資本業務提携に向けた協議を行っていく基本合意書の締結について公表しました。本年4月にはアレンザホールディングスは当社グループの持分法適用会社となりました。本件の意義として、業界内でのプレゼンス向上、経営規模拡大効果実現の効率的な推進、双方の事業ノウハウ・店舗網を相互活用した事業領域の拡大、及び専門性強化を想定しております。ステーキホルダーの皆様への期待に応えるべく、持続的な成長と中長期的な企業価値向上により一層努めてまいります。

株主還元の充実

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要課題の一つと位置づけております。基本方針として、業績の見通し、事業活動への投資、財務健全性などを総合的に判断しながら、長期にわたる安定した配当の実施と、業績ならびに株価水準などに応じた自己株式取得の検討を掲げております。第4次中期経営計画期間中の株主還元目標として、総還元性向40%以上、及び累進配当と定めております。第49期の配当につきましては、中間・期末いずれも1株当たり65円、年間の配当額は1株当たり130円と12期連続の増配となりました。さらに、第50期の配当につきましては1株当たり10円増配し年間140円を予定しております。これにより、13期連続の増配となる予定です。引き続き、投資計画及び財務の健全性維持などを総合的に勘案して利益還元を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き絶大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第4次中期経営計画(2025-2027)

当社グループは、2025年4月に「第4次中期経営計画」を公表しました。当中期経営計画の目指す姿である誰からも愛される存在で「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を実現すべく、一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

《最終年度目標》

数値目標 (2027年度)	売上高 5,600億円	営業利益 290億円	EBITDA 430億円
	当期純利益 165億円	総還元性向 40%以上	配当方針 累進配当

《企業価値向上に向けた取り組み》

資本効率をさらに高めることでROE10%以上を目指し、市場から評価される成長戦略などでPER水準の引上げを展望し、PBRの一層の改善を目指します。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{PBR (株価純資産倍率)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{ROE (自己資本利益率)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{PER (株価収益率)} \\ \hline \end{array}$$

2025年度実績 **0.72倍** **7.23%** **10.01倍**

(2026年2月末株価で算出)

ROE向上に向けた取り組み

売上高 ✓ 出店・改装の推進 ✓ 強みとするPRO商材販売の強化 ✓ EC・法人営業・RF売上拡大 ✓ グループシナジーの極大化	当期純利益 ✓ 粗利益率の引き上げ(原価改善/PB拡販・供給拡大) ✓ 既存店の販管費コントロール推進 ✓ 持分法適用会社損益計上による利益率向上	総資産・自己資本 ✓ 需要予測システム活用による在庫適正化推進 = 既存店在庫削減目標: ▲10% ✓ 有利子負債の有効活用と適正水準へのコントロール推進 (DER引下げ)
---	---	--

《重点戦略》

重点戦略	① 出店戦略	② 商品戦略・価格戦略	③ EC×店舗戦略
④ ファン化戦略	⑤ 物流戦略	⑥ オペレーション戦略	⑦ 人材経営

① 出店戦略(PRO業態の強化)

- 大都市圏への出店強化 人口集中エリアでのドミナント構築
- 全国中核市への出店 全国規模でブランド浸透を目指す
- ホームセンターコーナン から コーナンPRO への業態転換の実施



建デポ葛飾水元店：東京23区



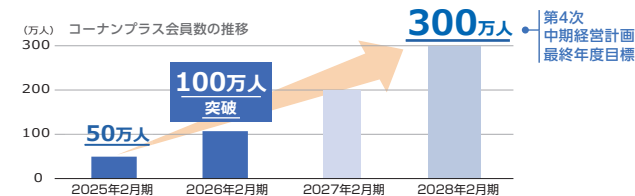
コーナンPRO新潟桜木店：新潟県初出店



コーナンPRO東三国店：業態変更

④ ファン化戦略

会員様限定クーポン・会員様限定サービスの展開で会員数増加
コーナンプラスと楽天ID・コーナンPayの紐づけで更に便利に



② 商品・価格戦略(PB商品の強化)

- 既存主力商品の再拡販(まとめてお得)
- 増量品・大容量品の訴求(コスパ重視・専用販売)
- ECの口コミや従業員からの提案・ワークショップなどから商品開発・改善



● 販売好調商品一例
花と野菜の培養土34L



USB充電電動ブッシュガン

⑤ 物流戦略

<大阪ベイ流通センター新規開設>
管轄店舗の見直しで配送距離短縮
最新機器導入で作業負担軽減



<自動運転トラックの試験運用>
関西⇄関東の高速道路一部区間で実施



第49期の主なトピックス (2025年3月～2026年2月)

- 2025年 3月**
 - 健康経営優良法人2025認定
 - 東京都品川区に「品川八潮店」をオープン
 - 春日井市・新居浜市・清須市・久御山町と災害協定を締結
- 4月**
 - コーナングループカスタマーハラスメントに対する基本方針策定
 - 埼玉県草加市に「草加Cycle Plaza 館」をオープン
 - 石川県金沢市に「建デポ金沢鳴和店」をオープン
 - 愛知県愛知郡に「PRO 東郷店」をオープン
 - 奈良県大和高田市に「トナリエ大和高田店」をオープン
 - 第4次中期経営計画を策定
 - 埼玉県川越市に「川越的場店」をオープン
 - 埼玉県川越市に「PRO川越的場店」をオープン
 - 大阪府吹田市に「江坂駅前店」をオープン
 - 広島県福山市に「PRO 福山三吉店」をオープン
 - 堺市子ども教育ゆめ基金への寄附
 - 堺市北区に「PRO中環堺長曾根店」をオープン
 - ベトナムのハノイに「ビンコムロイヤルシティ店」をオープン
- 5月**
 - みんな大好き!! ペット王国2025に出展
 - 大阪教育ゆめ基金への寄附
 - 兵庫県川西市に「PRO川西加茂店」をオープン
 - 京都市西京区に「PRO千代原口店」をオープン
 - 宮崎県宮崎市に「HIヒロセPRO江平店」をオープン
- 6月**
 - 建デポがボーダレス株式会社を子会社化
 - 埼玉県上尾市に「PRO上尾緑丘店」をオープン
- 7月**
 - 大分県大分市に「HIヒロセPRO下郡店」をオープン
 - 紀の川市と災害協定を締結
- 2026年 8月**
 - 信用格付「A- 安定的」取得(日本格付研究所)
 - 日本DIYホームセンターショー 2025に出展
 - 「大阪ベイ流通センター」新規開設
- 9月**
 - 東京都府中市に「建デポ府中西原町店」をオープン
 - 大阪府岸和田市に「東岸和田駅前店」をオープン
 - 奈良県香芝市に「真美ヶ丘店」をオープン

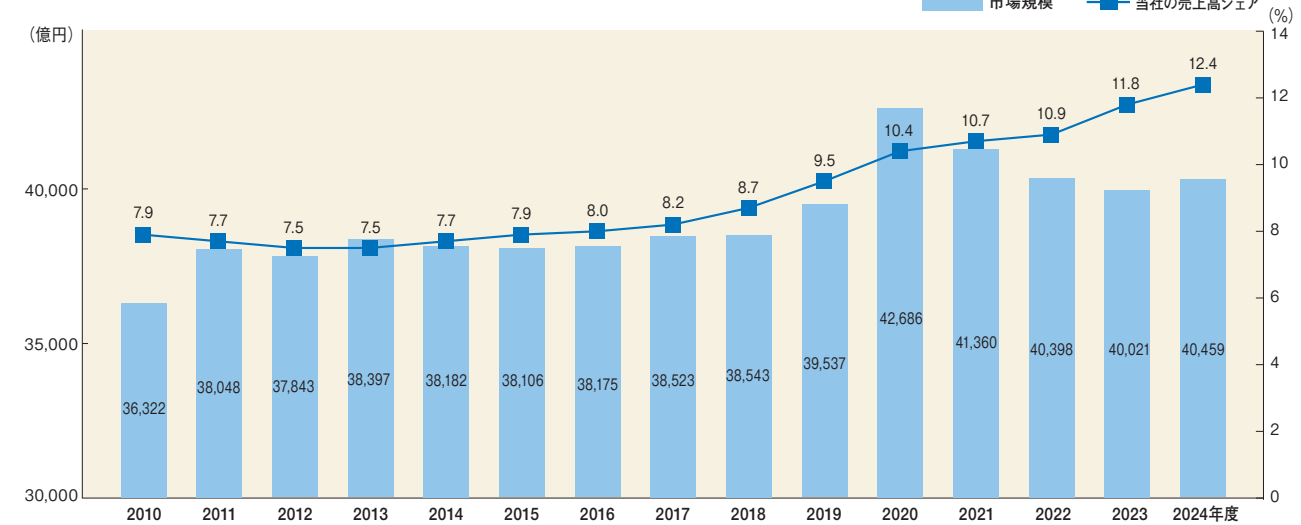


- 10月**
 - 大阪市と気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定を締結
 - 愛知県豊橋市に「PRO 豊橋山田店」をオープン
 - 大阪市淀川区に「PRO東三国店」をオープン
 - 神奈川県大和市に「PRO大和店」をオープン
 - 千葉県松戸市に「建デポ松戸ニツ木店」をオープン
 - 株式会社ホームセンターみつわを子会社化
- 11月**
 - サンキュードラッグ様へのPB商品供給開始
 - 新潟県新潟市に「PRO新潟桜木店」をオープン
 - 横浜市港北区に「建デポ横浜新吉田店」をオープン
 - 泉大津市と包括連携に関する協定を締結
- 12月**
 - ベトナムのフンイエンに「ビンコムオーシャンシティ店」をオープン
 - 東京都江戸川区に「江戸川船堀店」をオープン
 - 岡山市北区に「PRO 岡山久米店」をオープン
 - 株式会社InTホールディングスを子会社化
 - 川越市・有田市と災害協定を締結
- 2026年 1月**
 - 戸田市・門真市と災害協定を締結
- 2月**
 - 東京都足立区に「建デポ足立鹿浜店」をオープン
 - 東京都葛飾区に「建デポ葛飾水元店」をオープン
 - アレンザホールディングス株式会社の株式等公開買付け及び資本業務提携契約締結を公表
 - 草津市・大津市・東浦町・知立市と災害協定を締結



2024年度					
順位	会社名	営業収益(億円)	2024年度店舗数	本社所在地	株式公開市場
1	カインズ	5,738	256	埼玉県	—
2	DCMホールディングス	5,446	843	東京都	東証プライム
3	コーナン商事	5,014	641	大阪府	東証プライム
4	コメリ	3,791	1,228	新潟県	東証プライム
5	アークランズ	3,157	139	新潟県	東証プライム
6	ナフコ	1,818	360	福岡県	東証スタンダード
7	アレンザホールディングス	1,533	303	福島県	東証プライム
8	ジョイフル本田	1,268	25	茨城県	東証プライム
9	島忠	1,196	52	埼玉県	—
10	ロイヤルホームセンター	964	64	大阪府	—

■ホームセンター市場規模・当社の業界内売上高シェア



上記ランキング及び市場規模数値は、2025年8月発行の「DIAMOND HOMECENTER」の資料をもとに作成いたしました。

お客様の幅広いニーズに応える、コーナンの業態戦略

ホームセンター



(上) 2025年9月にオープンした「東岸和田駅前店」
(下) 2025年12月にオープンした「江戸川船堀店」

幅広い品揃え、地域密着型のホームセンターです。お値打ち価格で役に立つ生活必需品をお届けすることでお客様の利便性を追求するとともに、DIY、ガーデニングなどでの余暇の活用により生活に彩りを添え、快適な住まいの実現を後押ししています。また近年ではフォーマット戦略として新規出店や既存店の改装でPRO+ホームセンターのハイブリッド店舗を積極的に展開し、お客様の回遊性向上と効率的な店舗運営を追求しております。

2026年2月末 **366**店舗
※CAMP DEPOT含む

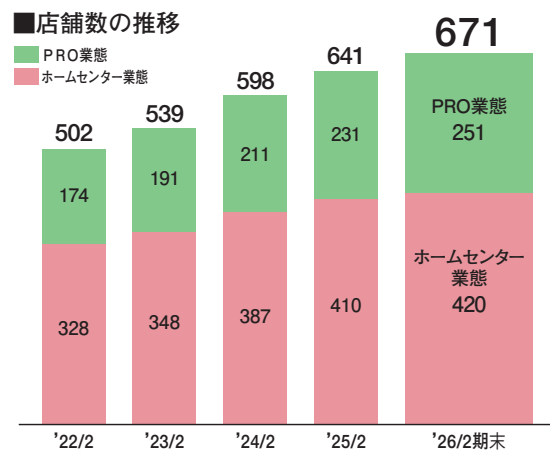
PRO



2025年11月にオープンした「PRO新潟桜木店」(新潟県初出店)

プロのお客様の厳しい目に応える専門性の高い資材、塗料、作業用品などを幅広く品揃えするプロ向け専門店です。建築需要が多い都市部を中心に小型店の出店を強化したり、既存店においてお客様の要望に合わせて柔軟に品揃えを変更するなど、幅広く柔軟な店舗展開を行っています。

2026年2月末 **154**店舗



2026年2月末 総店舗数 **671**店舗

【コーナングループ一覧】

■株式会社建デポ

首都圏を中心としたプロ顧客向け
会員制建築資材卸売店舗
2025年度は石川県に初出店、
6店舗の新規出店を実施



2025年9月にオープンした
「建デポ府中西原町店」

2026年2月末 94店舗

●ボーダレス株式会社(建デポ子会社)

店舗・ECでの工具買取・販売事業を運営
(2025年6月グループイン)



■株式会社I'nTホールディングス

グラムスタイル・イーナの2社を傘下に
持つ、家具・インテリア専門のECサイトを
運営(2025年12月グループイン)



■コーナンベトナム・カンボジア

ベトナム・カンボジアでの
ホームセンター運営
2025年度はベトナム
において2店舗の新規
出店を実施



2025年12月にオープンした
「ピンコムオーシャンシティ店」

■株式会社

ホームインブルームメントひろせ
九州地方においてホームセン
ターと食品スーパーを併設した
店舗等を運営



2025年7月にオープンした
「HiヒロセPRO下郡店」

2026年2月末 34店舗

■株式会社ホームセンターみつわ

福井県内でのホームセンター運営
(2025年10月グループイン)



「ホームセンターみつわ丸岡店」

2026年2月末 4店舗

【間接部門】

■大阪エイチシー

建物・設備に関するメンテナンス
事業運営



■コーナンビジネスイノベーション株式会社

店舗作業支援などの総合サービス業



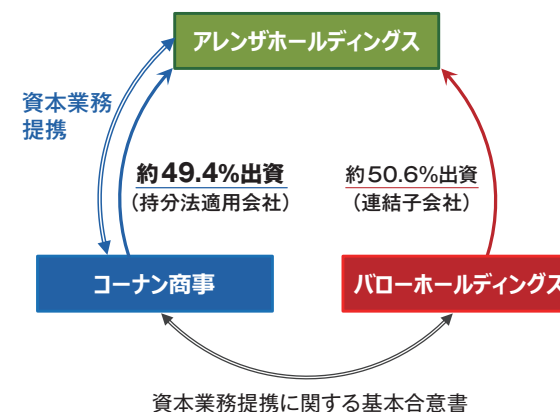
■サザンポートライン株式会社

輸送を中心とした物流関連事業



アレンザホールディングス株式会社との資本業務提携について

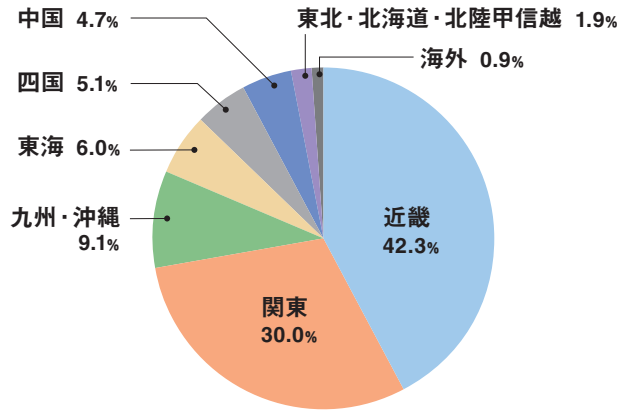
当社は、2026年2月12日付で、アレンザホールディングス株式会社の株式等の公開買付け及び同社との資本業務提携を公表いたしました。また、公開買付けの決済開始日である同年4月6日付でアレンザホールディングスの株式の38.79%を取得し、同社を持分法適用会社化いたしました。



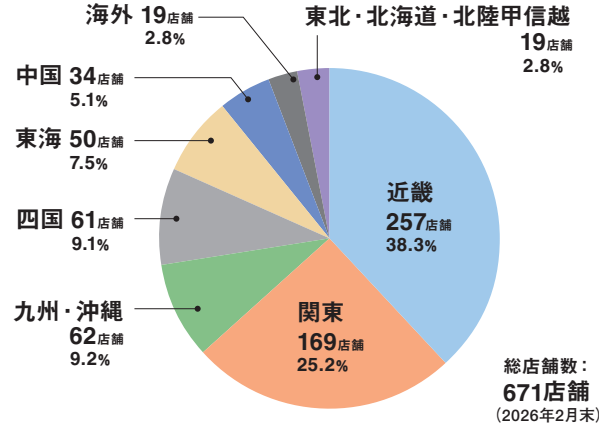
【本件シナジー】

- ▶ PB商品の供給
- ▶ ペット事業での連携
- ▶ 建築職人向けプロ業態強化に関する連携
- ▶ 物流に関する合理化の共同推進
- ▶ 事業コストの最適化(什器・備品等の共同購入など)

■売上高構成比 (2026年2月末)



■店舗数構成比 (2026年2月末)



■2026年2月末時点：店舗数計 **671**店舗 (出店34店/退店4店) みつわ4店舗のグループインを含む

国内	ホームセンター		PRO		ホームセンター食品 PRO
	652 出店32、退店3				
	366 ※1出店8 退店2	4 出店4 退店0	154 出店12 退店0	94 【うちFC3】 出店6、退店0	34 【うちPRO3】 出店2、退店1
海外	KOHAN VIETNAM CO., LTD. 【ベトナム】		KOHAN (CAMBODIA) CO., LTD. 【カンボジア】(非連結)		
	19 出店2、退店1	16 ※2出店2 退店1	3 出店0 退店0		

※1 CAMP DEPOTの店舗数8店舗、gardens umekita店を含んでおります。

※2 店舗数はコーナンベトナムの会計期間(1月~12月)ではなく、当社の会計期間(3月~2月)内に開店した店舗を表示しております。

■2027年2月期 出店計画：32店舗(予定)

国内	ホームセンター		PRO		HC 食品 PRO
	29				
	7	0	13	9	0
海外	KOHAN VIETNAM CO., LTD. 【ベトナム】		KOHAN (CAMBODIA) CO., LTD. 【カンボジア】(非連結)		
	3	3*	0		

※店舗数は当社の会計期間を基準に表示しております。

■2027年2月末時点 店舗数計：701店舗(予定)

国内	ホームセンター		PRO		HC 食品 PRO
	679				
	371	4	167	103 【うちFC3】	34 【うちPRO3】
海外	KOHAN VIETNAM CO., LTD. 【ベトナム】		KOHAN (CAMBODIA) CO., LTD. 【カンボジア】(非連結)		
	22	19*	3		

お客様の利便性を第一に考えた、 店づくり・サポート体制

コーナンプラス

2024年7月に当社の公式アプリをリニューアルし、同時に新たな会員サービス「コーナンプラス」を開始しました。コーナンプラスに会員登録することで、会員限定のアプリクーポンの利用が可能になるなどの特典がございます。2025年度において、コーナンプラスの会員は100万人を突破しました。また、2025年11月より、コーナンプラスとコーナンPay・楽天ポイントの連携でさらにお買い物が便利になる機能が追加されました。お客様へより高い利便性を提供できるよう今後も取り組みを進めてまいります。

コーナンプラス案内URL：https://www.hc-kohnan.com/service/stores/kohnan_plus/



オンラインサービス

当社ECサイトの「コーナネショップ」では、WEB限定商品の販売や特別キャンペーンの実施などにより全国のお客様にお買い物を楽しんでいただいております。2024年1月には新たにペットショップサイトの「pet plaza」を開設しました。各種情報の発信に加え、各店舗の生体検索機能を搭載、2025年3月には24時間トリミングやホテルの予約が可能になりました。また、1回のお申し込みだけで決まった商品を定期的にお届けするお得な定期購入サービスも実施しております。このようなサービス拡充を通じて、お客様にとって便利なオンラインサービスを目指しております。

コーナネショップURL：
<https://www.kohnan-eshop.com/>



ペットショップサイトURL：
<https://petplaza.kohnan-eshop.com/>



リフォーム

コーナンリフォームは、地域に密着し、お客様にご満足頂けるリフォームを目指しております。機器の交換からライフステージの変化による間取り変更などのリノベーションをはじめ、住まいにかかわる多様なメニューをご用意しております。当社の強みである店舗網や法人営業部との連携などを活かし、多くのお客様に「わかる・安心・気持ちいい」を実現するご提案を心がけております。2024年10月にリニューアルしたリフォームECサイトにおいては、2025年度の売上は1.3倍となり着実に成長しております。2025年度にはリフォーム売場改装を35店舗で実施し、積極的な売場刷新を進めているほか、現在新たな取り組みとして、お客様向けのリフォーム講座開催にも注力しております。今後も「コーナンリフォームに頼んでよかった」とお客様に喜んで頂ける取り組みを進めてまいります。

コーナンリフォームURL：
<https://www.hc-kohnan.com/reform/>



コーナンリフォームeショップURL：
<https://www.kohnan-eshop.com/reform/>



2025年11月に改装した西宮今津店のリフォームコーナー

法人営業

法人営業部では官公庁・法人企業様に対しホームセンターならではの品揃えを活かしたご提案をしております。法人企業様向け掛購入カードの「コーナンコーポレートカード」も皆様にご好評を頂いております。法人様向けのECサイト「コーナネショップ for Business」も開設しており、自治体・企業様向けのニーズの高い防災備品提案や、オフィス改修や職場リフォームなど多彩な商品・サービスを取り揃えております。

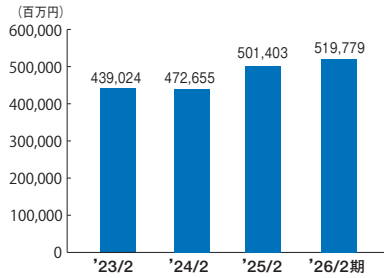
官公庁・法人様向け専用ホームページURL：
<https://www.hc-kohnan.com/business/>



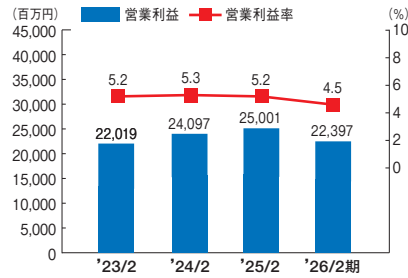
コーナネショップ for Business URL：
<https://www.kohnan-eshop.com/shop/r/rtop/>



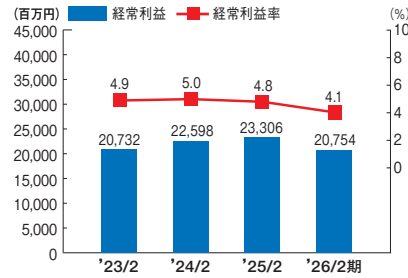
■営業収益



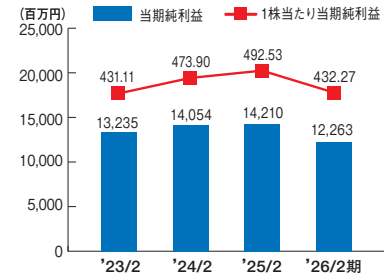
■営業利益



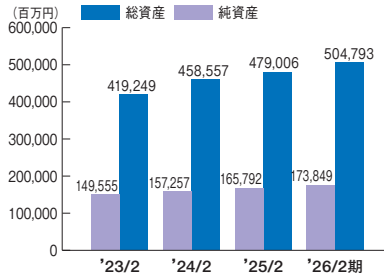
■経常利益



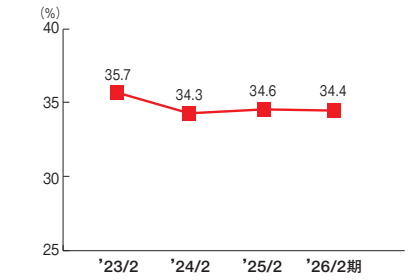
■当期純利益 / 1株当たり当期純利益 (EPS)



■総資産 / 純資産



■自己資本比率



2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用した数値となっております。

貸借対照表

(百万円未満切捨)

項目	前期末 (2025年2月末)	当期末 (2026年2月末)
●資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,842	15,518
売掛金	17,893	18,050
商品	131,973	145,955
その他	9,788	9,823
流動資産合計	170,496	189,346
固定資産		
有形固定資産	216,101	215,952
無形固定資産	25,148	28,391
投資その他の資産	67,260	71,102
固定資産合計	308,510	315,446
資産合計	479,006	504,793

(百万円未満切捨)

項目	前期末 (2025年2月末)	当期末 (2026年2月末)
●負債の部		
流動負債		
買掛金	47,272	49,962
短期借入金	17,100	28,200
1年内返済予定の長期借入金	31,178	34,830
その他	27,930	29,411
流動負債合計	123,480	142,403
固定負債		
長期借入金	118,774	118,240
その他	70,960	70,301
固定負債合計	189,734	188,541
負債合計	313,214	330,944
●純資産の部		
資本金	17,658	17,658
資本剰余金	17,922	17,922
利益剰余金他	129,142	136,048
株主資本合計	164,722	171,628
評価・換算差額等合計	1,070	1,768
純資産合計	165,792	173,849
負債・純資産合計	479,006	504,793

損益計算書

(百万円未満切捨)

項目	2025年2月期	2026年2月期
売上高	484,293	502,059
営業収入	17,110	17,719
営業収益	501,403	519,779
売上総利益	179,458	185,532
販売費及び一般管理費	171,567	180,854
営業利益	25,001	22,397
営業外収益	1,440	1,831
営業外費用	3,136	3,474
経常利益	23,306	20,754
特別利益	704	18
特別損失	2,470	1,974
税引前当期純利益	21,540	18,798
法人税等	7,329	6,509
親会社株主に帰属する当期純利益	14,210	12,263

キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

区分	2025年2月期	2026年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,441	22,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,723	△20,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,433	1,460
現金及び現金同等物の期首残高	10,205	9,523
現金及び現金同等物の期末残高	9,523	13,300

第50期 (2026年3月1日~2027年2月28日) 計画

(百万円未満切捨)

項目	2027年2月期 第2四半期 (累計)	前年同期比 (%)	2027年2月期 通期	前年同期比 (%)
営業収益	277,100	104.5	543,500	104.6
売上高	268,000	104.6	525,000	104.6
売上総利益	100,050	105.6	196,000	105.6
営業収入	9,100	104.0	18,500	104.4
販売費及び一般管理費	94,200	106.1	191,500	105.9
営業利益	14,950	101.7	23,000	102.7
経常利益	13,950	101.6	21,000	101.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,750	100.3	12,500	101.9

☆ 株主総数…20,052名
 ☆ 発行済株式総数…34,682,113株

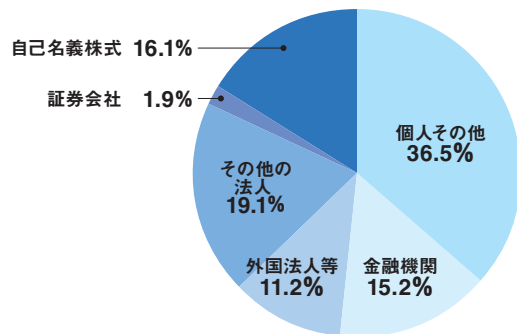
■大株主

2026年2月28日現在 (千株未満切捨)

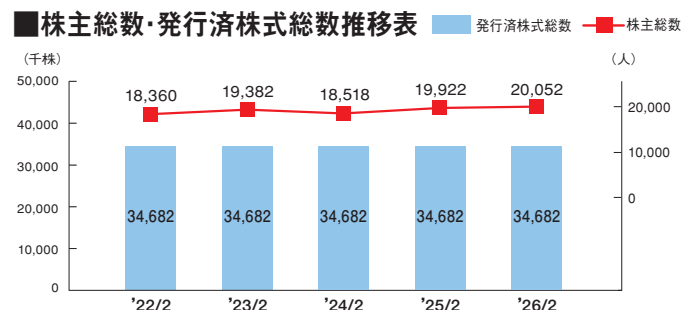
株主名	所有株式数(千株)	所有株式比率(%) (※)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,093	7.19
港南株式会社	2,040	7.01
疋田 耕造	1,807	6.21
疋田 直太郎	1,799	6.18
コーナン商事取引先持株会	1,268	4.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,236	4.25
アイリスオーヤマ株式会社	1,101	3.78
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	943	3.24
YS株式会社	707	2.43
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	652	2.24

※所有株式比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式数分布状況



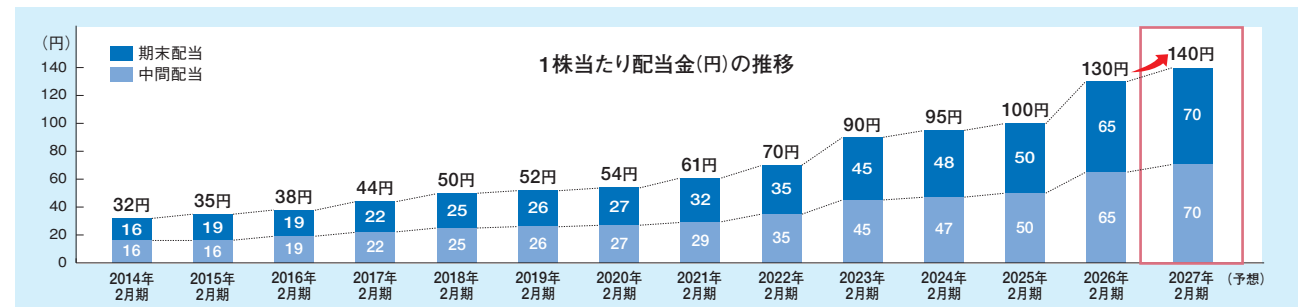
■株主総数・発行済株式総数推移表



当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、業績の見通し、事業活動への投資、財務健全性などを総合的に判断しながら、長期にわたって安定した配当を実施することを基本方針としております。また、自己株式の取得についても業績ならびに株価水準等に応じ、適宜検討を行っております。

目標水準	第4次中計期間中 (2026/2 -2028/2)	●総還元性向:40%以上	2027年2月期(予定) 配当140円/年	●累進配当
-------------	---------------------------	--------------	-----------------------	-------

	第48期(2025年2月期)			第49期(2026年2月期)			第50期(2027年2月期)(予想)		
	中間	期末	通期	中間	期末	通期	中間(予)	期末(予)	通期(予)
1株当たり配当金	50円	50円	100円	65円	65円	130円	70円	70円	140円



株価・出来高の推移



株主優待制度

毎期末(2月末)現在、当社単元株式を保有いただいております株主の皆様へ、株主優待制度を実施しております。株主様の保有株式数に応じて、当社の商品券を贈呈しております。(期末配当金計算書・期末配当金領収証送付の際に同封いたします。) 2021年2月期における株主様への贈呈分より、以下の通り長期保有株主様に対する拡充制度を導入しております。なお、中間期(8月末)は優待制度を実施しておりませんので、ご了承ください。

保有株式数	商品券枚数	3年以上継続保有(※)	
100株以上 300株未満	100株につき 1,000円分を1枚 (10枚上限)	100株以上 300株未満	加算なし
300株以上 1,000株未満		300株以上 1,000株未満	1枚加算
1,000株以上		1,000株以上	3枚加算

※3年以上継続保有とは、同一株主番号で2月末及び8月末を基準日とし単元株数(100株)以上を連続7回以上継続保有いただいている株主様のことといたします。拡充制度の対象となるのは、保有株式数が300株以上の株主様でございます。

【商品券ご利用の際のご注意】

- ・ご利用可能店舗は、ホームセンターコーナン、コーナンPRO、CAMP DEPOT、ビーパートザン及びビーバープロです。
- ・当社常設の自動販売機等、一部取扱できない商品もございます。
- ・商品券に有効期限はございません。
- ・2023年1月より、額面以上のご利用に限らせて頂きます。



【コーナンサステナビリティ基本方針】 持続的社会的実現に向けて、私達ができることを、飾らずに。

私達は「顧客・社会への貢献、従業員の幸福・繁栄を求め、企業の発展を図る」という経営理念のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の向上を図ります。小売業である私達だからこそできることがあると考え、各重要課題に対し、地域のお客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様とともに、飾らずに取り組むことで、誰からも愛される、「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を目指します。

重要課題グループ	重要課題	主な取り組み内容	関連するSDGs
1. 住まいと暮らしの豊かさへの貢献	1) 適正価格、適正品質、豊富な品揃えにより、お客様の豊かな生活を実現 2) お客様の利便性を追求した商品・サービスの提供 3) 多様な業態により日常・余暇・災害時など、お客様の暮らしをトータルサポート	・省資源を意識したPB商品の新規開発 ・PB商品の他社への供給拡大 ・都市型店舗やハイブリッド店舗の出店	3 持続可能な消費生活、3.1 持続可能な消費生活、3.2 持続可能な消費生活、9 産業と資源循環、9.1 産業と資源循環、11 住み続けられるまちづくり
2. 環境に配慮した事業の推進	1) プライベートブランド商品における省資源の推進 2) 省エネを通じたCO ₂ 排出量の削減による脱炭素社会への貢献 3) 資源リサイクルを通じた廃棄物の削減による循環型社会への貢献 4) 環境保全活動を通じた自然共生社会への貢献	・森林保全活動「DIYの森」 ・自家消費型太陽光発電設備の導入 ・廃プラスチックやダンボールの循環型リサイクル ・水素製造・利活用調査プロジェクトへの協力 ・EV（電気自動車）用急速充電器の設置 ・ダブル連結トラック運用による環境負荷低減	7 気候変動に具体的な対策を、7.1 気候変動に具体的な対策を、7.2 気候変動に具体的な対策を、11 住み続けられるまちづくり、11.1 住み続けられるまちづくり、12 つくばない、つかう、かきかへる、12.1 つくばない、つかう、かきかへる、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう
3. 地域社会への貢献	1) 災害時における物資の供給及び避難場所の提供を通じた各自治体との連携強化 2) 様々なイベントや活動を通じた地域創生への貢献	・大阪府、堺市の教育ゆめ基金への寄附（2010年度より継続実施） ・自治体との災害協定 ・自治体の防災イベントや防災訓練への参加	3 持続可能な消費生活、3.1 持続可能な消費生活、3.2 持続可能な消費生活、4 質の高い教育をみんなに、4.1 質の高い教育をみんなに、10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促す、10.1 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促す、11 住み続けられるまちづくり、11.1 住み続けられるまちづくり
4. 働きがいのある職場環境の構築とダイバーシティの推進	1) 働く人々の多様性や個性を尊重した能力開発とキャリア形成の支援 2) 誰もが働きやすいと実感できる職場づくりとコミュニケーションの充実 3) 従業員の心身の充実（健康経営の推進、エンゲージメント向上）	・新人事制度の導入 ・「DBJ 健康経営格付」取得 ・ジェンダーフリーを意識した「身だしなみ基準」の整理 ・「健康経営優良法人2026」認定 ・カスタマーハラスメントに対する基本方針策定	3 持続可能な消費生活、3.1 持続可能な消費生活、3.2 持続可能な消費生活、5 ジェンダー平等をすすめる、5.1 ジェンダー平等をすすめる、8 豊かで持続可能な成長を創出する、8.1 豊かで持続可能な成長を創出する、10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促す、10.1 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促す
5. コーポレートガバナンスの強化	1) 経営の透明性をより高めるための社内風土づくりと管理体制の強化 2) 様々なステークホルダーの権利や立場を尊重した対話と共創 3) サプライチェーンにおける公平公正な取引 4) コンプライアンスの遵守	・指名・報酬委員会の設置（議長及び過半数が社外取締役） ・取締役の1/3以上が社外取締役（社内取締役8名、社外取締役5名）※2026年2月末時点 ・「パートナーシップ構築宣言」公表	16 公正で包摂的な成長を創出する、16.1 公正で包摂的な成長を創出する、17 パートナーシップで目標を達成しよう、17.1 パートナーシップで目標を達成しよう



店舗屋上などへの自家消費型太陽光発電設備の導入（写真は東京都世田谷区のPRO世田谷八幡山店）



災害協定締結の推進（写真は大阪府門真市との協定締結の様子）



防災協定締結先の神奈川県大和市における防災イベントの様子

- 1978年度
 - ・コーナン商事株式会社設立
 - ・近畿圏のホームセンターの草分けとして第1号店「泉北店」を堺市に開店
- 1986年度
 - ・日本DIY協会に加盟
- 1996年度
 - ・大阪証券取引所第二部に上場
- 2000年度
 - ・海外商品直輸入を開始
 - ・「コーナンPRO」1号店を東淀川菅原店に別館併設
 - ・大阪証券取引所第一部に上場
- 2001年度
 - ・東京証券取引所第一部に上場
- 2003年度
 - ・関東に初出店（「保土ヶ谷星川店」、「本羽田萩中店」）
 - ・Web-shopサイト「コーナネショップ」営業開始
- 2012年度
 - ・関東にPROを初出店（「PRO港北インター店」）
- 2013年度
 - ・東北にHCを初出店（「あすと長町店」）
- 2015年度
 - ・足田 直太郎が代表取締役社長に就任
 - ・中期経営計画を策定
 - ・消費税免税サービスを開始（「ハーバーランド店」）
- 2016年度
 - ・海外に初出店（「コーナンベトナム ビンタン店」）
- 2017年度
 - ・株式会社ビーバートザンを子会社化
 - ・法人企業様向け「コーナンコーポレートカード」運用開始
- 2018年度
 - ・創業40周年を迎える
 - ・第2次中期経営計画を策定
 - ・株式会社ホームインブルーメントひろせと資本業務提携
- 2019年度
 - ・「コーナンPay」運用開始
 - ・「楽天ポイントカード」を導入
 - ・長期ビジョン「New Stage 2025」を策定
 - ・株式会社建デボを子会社化
 - ・神奈川県川崎市の「川崎ベイ流通センター」稼働開始
 - ・ドイツ株式会社のホームセンター事業及びリフォーム事業を承継
- 2020年度
 - ・本社を新大阪に移転
 - ・「CAMP DEPOT」第1号店オープン
- 2021年度
 - ・第3次中期経営計画を策定
 - ・コーナングループ500店舗を達成
 - ・カンボジア王国に子会社設立
- 2022年度
 - ・新市場区分「プライム市場」へ移行
 - ・カンボジア王国に初出店（コーナンカンボジア「センソックシティ店」）
 - ・全額出資子会社「コーナンビジネスイノベーション株式会社」設立
- 2023年度
 - ・株式会社ビーバートザンを合併
 - ・株式会社ホームインブルーメントひろせを子会社化
- 2024年度
 - ・コーナングループ600店舗を達成
 - ・都市型新概念店舗「gardens umekita」オープン
 - ・物流子会社「サザンポートライン株式会社」業務開始
- 2025年度
 - ・第4次中期経営計画を策定
 - ・株式会社ホームセンターみつわを子会社化
 - ・株式会社InTホールディングスを子会社化
 - ・アレンザホールディングス株式会社の株式公開買付け及び資本業務提携を公表



会社概要

商号	コーナン商事株式会社 (英訳名 KOHNAN SHOJI CO.,LTD.)
本店	大阪府堺市西区鳳東町4丁401番地1
本社事務取扱場所	大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号 TEL(06)6397-1621(代)
設立年月日	1978年9月20日
資本金	176億58百万円
事業内容	ホームセンター事業、建築職人向け小売業 および会員制建築資材卸売業
主な取引銀行	みずほ銀行、三井住友銀行、紀陽銀行、 三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行
役員	代表取締役社長 足田 直太郎 常務取締役上席執行役員 加藤 高明 常務取締役上席執行役員 成田 幸夫 取締役上席執行役員 窪山 満 取締役上席執行役員 小松 和城 取締役上席執行役員 浦田 俊一 取締役上席執行役員 江川 勝之 取締役上席執行役員 足田 修造 社外取締役 田端 晃 社外取締役 片山 博臣 社外取締役 山中 千佳 社外取締役 山中 諄 社外取締役 岡田 賢二 社外取締役 松川 奈央 常勤監査役 榊 枝守 社外監査役 小倉 健之亮 社外監査役 藤本 光二 社外監査役 梶原 健司

(2026年5月28日現在)

ホームページ

当社ホームページでは、決算短信をはじめ、月次売上動向やニュースリリース等のIR情報を掲載しております。

<https://www.hc-kohnan.com/>

お問い合わせ先

コーナン商事株式会社 | IR広報室

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号
TEL. (06) 6397-1622 (ダイヤルイン)
E-mail IR@hc-kohnan.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00 ~17:00 (土・日・祝日および12/31 ~ 1/3を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】 証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。	
【特別口座について】 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。	
公告の方法	電子公告により行う。但し、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する。
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場

コーナンアプリ

コーナンアプリでは、アプリ限定クーポンやお気に入り店舗の最新チラシ情報などのお得な情報を入力いただけます。2025年11月より、コーナンプラス(無料会員サービス)とコーナンPay・楽天ポイントの連携でさらにお買い物便利になる機能が追加されました。

詳しくはこちらを▶
ご覧下さい



※アプリご使用時の通信料はお客様の負担となります。